はしがき

昨今、アジアにおいても、経済と社会の発展に伴い人の移動がいっそう活発になると共に旅（旅行）ができる環境も徐々に整ってきているようです。特にわが国では高齢社会がすすみ、社会の第一線を退いた人たちがさまざまな契機で旅をする機会も増え、海外旅行をする人だけでも年間一七〇〇万人くらいといわれています。今日、「旅」という言葉は、多様な思いを込めていろいろな生活場面で使われ、また「旅をする」ことは、私たちの日常生活の中で特別なことではなくなりました。

このように私たちにとっては身近な旅ですが、古代の旅事情はどのような様子だったのでしょうか。また、なぜ旅をしたのでしょうか。本書は、そのはじまりを辿り、それぞれご専門の知見をお持ちの先生方に旅と文化の関係を提示していただければと考え企画したものです。

そもそも旅とは、「所属を変えないまま、住む土地（故郷）を離れて、一時的に他の土地へ行き、よその集団の人と中立的で対等な関係を保ち、宿舎や食料の供与を受け、いずれうちの集団へ戻ることをいう」（榎本知郎）とすれば、これは渡りをする鳥や所属を変える他の霊長類とは異なり、人固有の営みと言えましょう。

そこで、その移動距離・手段、そして動機等も時代によりそれぞれ異なりますが、人による旅のはじまりとその歴史、またその営みが、「その人自身のみならず、人の集団（社会）へいかなる影響を与え、さらには文学・文化の生成に如何に関わった」（寺川眞知夫）かについて論究していただくことにしました。

本書では、万葉古代学研究所の第三回主宰共同研究「旅と『万葉集』」の内容を公開するためのシンポジウム

「人はなぜ旅をするのか」の各論考とその後の年報№9（2011）に掲載されました論文の中から取り上げさせていただくと共に、また、新たな論考も加えました。第1章では、古代万葉期の歌にみられる「旅」の情景と奈良時代前後の行旅者について、また第2章と第3章では、同時代の世界の「旅」について多面的・包括的に考察していただいています。

本書が、旅のはじまりと生活・文化との関わりについて、理解を深めていただくための一助となれば幸いです。

2012年11月

編集部

旅のはじまりと文化の生成

目次

はしがき……i

第一章　日本古代の旅……1

柿本人麻呂の旅――人麻呂は旅において風土をどのように表現したか――……（寺川眞知夫）……2

はじめに　2
一、人麻呂の歌に表れる地域名　6
二、吉野讃歌の描く景観　8
三、近江荒都歌の表現　11
四、羈旅八首等の地名表現　14
五、石見相聞歌の土地の表現　21
六、行路死人歌の表現　26
おわりに　35

万葉びとの小さな旅……（上野　誠）……40

はじめに　40

一、歌のなかで語られる生活　41
二、平城京の文学　45
三、巻一六の「カリホ」の文芸　46
おわりに　50

「関山月」の和化――『万葉集』における「旅」の一視点――……（井上さやか）……52

はじめに　52
一、基礎資料と問題点　53
二、遣新羅使人歌群の問題　56
三、「関山月」の主題　64
おわりに　71

奈良時代前後の行旅者について……（松尾　光）……73

一、公民の行旅　73
二、官人・准官人の行旅　79
三、商人の行旅　85
四、行旅の前提条件――宿泊施設と食料調達――　88
五、行旅の前提条件――行路案内――　100

都に通うも旅……（竹本　晃）……115
はじめに　115
一、休暇の内容　116
二、呼び出し　119
三、家から都に通うこと　121
おわりに　127

第二章　アジア・オセアニアの旅……131

古代南インドの塩の道……（高橋孝信）……132
はじめに　132
一、タミル古代の五つの地域　134
二、製塩の方法　137
三、塩の産地　139
四、塩商人の通商ルート　142
おわりに　144

放浪詩人金笠について……（曹　咏梅）……149
はじめに　149
一、文献記録から見る金笠　150
二、金笠の旅　156
三、金笠と金剛山　161
おわりに　167

ポリネシア人とヒューマン・ビカミングの旅……（後藤　明）……170
はじめに　170
一、オセアニアの航海術　171
二、オセアニアの宇宙観　174
三、ポリネシア人の移動と土着性のイデオロギー　178
四、ルーツ（起源）からルート（経路）へ　180
五、旅をすることは物語を語ること　182
おわりに――ヒューマン・ビカミングの旅――　184

第三章　宗教・民俗学から見た旅……189

中国少数民族の死者の旅……（辰巳正明）……190

はじめに　190
一、中国少数民族の死者の旅　192
二、「焚巾曲」と死者の旅　196
おわりに　208

祭祀儀礼に見る旅――中国湖南省藍山県ヤオ族の通過儀礼を事例として――……（廣田律子）……210

はじめに　210
一、ヤオ族と儀礼　212
二、度戒儀礼における演出――旅の表現――　217
三、度戒儀礼における試練の実践――陰界への旅――　219
四、度戒儀礼における詩讃系の詩――旅の詩――　221
おわりに　240

死者の旅――古代日本人の魂の旅について――……（辰巳正明）……245
はじめに 245
一、天孫降臨神話と高天原への旅 247
二、登仙の二尊 254
三、閻羅（えんら）の使い 256
四、地獄への旅 259
おわりに 263
執筆者紹介……265